



# 埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：**Rollback Malaria & BF**



## 2021-22年度 会長テーマ「地域と繋がろう・地域に知られよう」

関東東部部長 大澤和子（所沢）「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」

東日本区理事 大久保知宏（宇都宮）「私たちは次の世代のために何が出来るか？」

アジア地域会長 Ohno Ben（大野勉・神戸ポート）“Make a difference beyond the 100th” “100年を越えて変革しよう”

国際会長 キム・サンチェ（韓国）“Y's Men with the World” “世界とともにワイズメン”

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 上松寛茂 / 書記 水無瀬隆三 / 会計 三浦雄二  
直前会長 上松寛茂 / ブリテン 水無瀬隆三・浅羽俊一郎 / 担当主事 太田 聡



### 会長挨拶

浅羽俊一郎

5月に入りました。年金生活者で旅行嫌いの私にとってはゴールデンウィークも関係なし。むしろ4月29日が昭和の日、今月3日が憲法記念日、さらに15日が沖縄復帰50年が、進行中のロシアとウクライナの戦闘と重なり合っ

て複雑な思いを覚えました。他方、毎日メディアが報じる感染者統計を聞き流している自分にコロナ・ファティグ(疲労)を感じています。マスクと手の消毒さえしていれば何とかなる、と。でも油断できない。

さて、空き家だった浦和の両親宅を地域活動に活かそうと昨秋始めた「き咲きてらす」はコロナ禍中、百歳体操、歌声集会、ワイズ例会、と少人数で使ってきましたが、幹事会で毎週定日開所する日を決めるよう促され、今月から毎火曜

の朝気楽に立ち寄れる

「いこいてらす」をオー

プンしました。協力者か

らテーブルクロス、コッ

プなど提供してもらい、

幹事の1人は手作り看板

を設置してくれました。

また他団体の集会には

出来るだけ参加してい

ます。知り合った人たち

と意気投合することも

あれば、意見が割れると「また話そう」となります。

「気づき」と「繋がり」を実感する喜びがあります。

写真は見沼の田んぼで一杯花開いた「ナンジャモンジャの木」頁右上はその拡大写真。❖



### 今月の聖句

「全て疲れた人、重荷を負っている人は私のもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」

(マタイ 11章 28節)

### 私の心に触れた言葉

「迷惑を掛けながらがんばってね」

小谷全人

20年程前にチャリティーランの事務局を担当し、大役に熱意をもって取り組んで準備を進めていた実行委員会にて、委員長の大場由子さんに言われた言葉です。「あなたの事務局としての働きは素晴らしいです。でもYMCAの職員としてはダメです。こんなにするべき事が終わっていたら、私達は何もすることが無いじゃない。会員にちょっと迷惑を掛けるつもりで役割を与える、その迷惑が、会員自身がここにいる意味を感じ、YMCAのために奉仕するよろこびを得ることになります。だからこれからは、迷惑を掛けながらがんばってね」。奉職4年目の私にはあまりよくわからず言葉だけが残っていましたが、以後YMCAでの日々を重ねるに連れて、その意味を理解し、その大切さと難しさ(?)を行き来しつつ、YMCAの働きに努めています。

### 5月 **テレジン** 合同例会 案内

日時：5月28日(土) 午後2時～4時

会場：「き咲きてらす」(浦和区木崎3-6-6)

開会：点鐘・モットー・ソング・聖句・祈祷  
ゲスト紹介・誕生日/祝い事

卓話：「テレジンの幼い画家が伝えるもの」

テレジンを語り継ぐ会代表 野村路子氏

- \* 閉会后その場で懇親会予定しています。
- \* コロナ対策は皆さんで心がけてください。
- \* 全員で後片付けしてください。

## ◆ 4月「18歳は成人」例会 メモ



4月25日、埼玉クラブ例会（昼の部）を開催しました。今回も例会のネーミングは浅羽が勝手につけました。4月スタートした成人年齢の18歳への引き下げという新制度を記憶しておくため。本例会は特に議案は無く、5月の埼玉3クラブの合同例会の件を確認した以外は主に意見交換となりました。と言っても写真の顔ぶれをご覧になればわかるでしょうが、二人紹介したいと思います。まずは4月から当クラブの担当となった小谷総主事。大歓迎です。そしてもう一人は伊藤澄夫さん。埼玉クラブの元メンバー。はるばる岩槻から自転車で来られました。以前お声かけしてましたが、来られると知らなかった古いつき合いのメンバー達は驚くやら、喜ぶやら。伊藤さんもとても嬉しかったと見えて、思い出話、木村熊二のことなど色々語ってくれました。歌は「青い山脈」を歌いました。堀和さんのサクソ伴奏がよかった。出席者：上松、衣笠、小谷、水無瀬、浅羽、堀和、浅羽メネット、ゲスト：藤井英美氏、伊藤澄夫氏（9人）



「18歳成人社会ハンドブック」の著者田中治彦氏（元上智大教授）は学生時代は東京山手 YMCA のリーダー。専門は開発教育、居場所論など YMCA とは今も繋がっています。（浅羽 記）❖

## ◆ 5月よる談会



11日午後7時過ぎから「よる談会」を先月に引き続き新都心「けやき広場」の中華店「青蓮」で開催。ビジターが4人（武蔵野多摩クラブから山口氏、麻生子氏、大輪氏）、ゲストは浦和区社協から吉野 理氏、

当クラブは上松、衣笠、三浦、堀和、浅羽と9人が参集した。これだけ揃うと楽しい。隣に座った者同士が思い思いの話題に花が咲く。初めて参加した吉野氏は40歳だったがベテランワイズと楽しそうに話していた。初めての参加者にも気楽に声をかけられるワイズメンは重宝される。気がついたら9時を回っていて急いで店の前で写真。駅前前で店から忘れ物の連絡があり、数人が店に戻る、というハプニング。午後の例会はプログラムに沿って真面目に進めていますが、よる談会はずっと気楽にということで親睦で繋がりを広げようということで進んでいきそうです。（浅羽 記）❖

## さいたま市の市民活動を知ろう (7)

### カフェギャラリー「おひさま」

浅羽俊一郎



「おひさま」は南浦和駅から徒歩7、8分の小さなマンションの1階の一戸を開放して地域活動している。私が最初に訪れたのは一昨年12月。これから始めたいと思っていた地域活動の参考にと押しかけた。代表の三瓶靖子さんは私を相手に2時間、ファイルを取り出し、資料を広げて方針、運営方法、苦労などを丁寧に共有してくれた。あれから一年半、今回ブリテンに取り上げたいと再訪すると、コロナ禍対策を取って活動していたが、年配の女性たちが10数名元気に語り合っていた。



毎月案内を発行しているが、そこには様々な活動を提供する。工作、健康体操、絵手紙、英語、映画鑑賞、パソコン教室などなど。現在年会費3000円で会員登録している人がほぼ100人。長期的にボランティアを続けている人が数名。助成金のほか、参加費300円（コーヒー付）と活動経費でまかなっている。地域が高齢化していく中で、募集も高齢者を対象にしている。交流、認知症予防、安否確認など様々な地域のニーズに応えている。❖



### 「地名は語る」

上松寛茂



埼玉県に関連した2022年5月号のブリテン原稿を執筆してほしいという後継会長の浅羽俊一郎メンの命令に、はて何を書いたらいいか。そうだ、小生が特別編集委員を務め、執筆陣5人のうちの一人として加わった埼玉新聞社の連載記事「地名は語る～埼玉の歴史と伝承～」について書くことにした。

前書きにはこうある。「地名は歴史なり」といわれ、我々の先祖が何かの思いや願いを込めて付けたといわれる。いずれの地名もそこに住み、生活した人々の歴史を反映し、まさにその成り立ちやそこで営まれた生活、習慣、信仰心、人々の交流などを知る上で、欠かせない貴重な財産だ。地名に込められた郷土の先人たちの思いを尋ねて、町おこし地域おこしに役立つヒントを探りたい」という趣旨でスタート。2015年5月から2020年11月まで連載された。既に同社から続編も含め2冊の書籍として出版もされている。小生は、さいたま市岩槻区をはじめ、川口、上尾、鴻巣、蕨、蓮田、桶川、戸田の8市を担当した。

執筆にあたっては各地域の図書館に通い、郷土史などの各種資料をひも解いてメモ、地元の郷土史家を尋ねてインタビューした。共通して言えることはすべての地域に地名の成りたちには宗教が絡んでいたことだ。まず、神社・仏閣を尋ねることから始まった。

川口市では川口神社の敷地内ある地名の由来となった金山神社には鑄物の神様「金山彦の命」が祭神だ。小生が生まれ（厳密には桶川、ゼロ歳で上尾）育った上尾市では、駅近くにある上尾総鎮守氷川鉾神社に伝わる荒唐無稽な伝説が上尾市名の由来とか。上尾駅西口から数分の場所にある富士見地区の名称の由来は、私が所属している日本基督教団上尾合同教会が関係している。ここの地名はかつては「字一本杉」だった。同教会がこの地に創設された当時は水田地帯。富士山がよく見えたので園長でもある当時の牧師が教会付属幼稚園の名称を上尾富士見幼稚園とした。相前後して教会のすぐ北側に上尾富士見小学校が開校(所在地名は柏座)した。その後の1966年7月1日に富士見の地名が誕生している。

4市が合併して誕生したさいたま市の以前の市名の一つが大宮市。氷川神社に由来する。

ヨーロッパを旅した時、それぞれの小さな都市でもキリスト教会の十字架がひと際目立ち、教会を中心に地域が発展している様子がよく分かる。

東京・神田美土代町にはかつて東京 YMCA の由緒ある建物があった。ビジネス街の中で唯一地域の人々に開かれた“窓”のようにも見えた。

YMCA が地域に開かれた「地の塩」「世の光」として地名に名を残すような存在になってほしいと祈りたい。❖



去年3月に川越クラブの利根川恵子メンからワイズ100年のアジア太平洋(ASP)地域の音楽プロジェクト「ソングフェスト」の委員長に、と誘われました。この歳でそんな大役務まる？恵子メンの後ろ支えを頼りに、会話と文章力のブラッシュアップも兼ねて、清水の舞台から飛び降りることにしました。

東西日本区のメンバー以外ほぼ全員初顔合わせでしたが、毎月ズームで顔を合わせ、議論の後は馴染みの歌(主にフォーク)を歌ううちにバーチャルなクラブ例会のような不思議な感動を覚えるようになりました。コロナ禍の恩恵のひとつでしょう。

このプロジェクトの目的は音楽を通してワイズ運動を活性化させようというもの。大きく4つの活動があります。(1)ワイズ・ソングを増やそう。すでに「いざ立て」に新たに9曲が加えられました。(2)ASP用の歌集を作ろう。その中にはワイズ・ソング、メン自作の歌、覚えたい各国の歌、キャンプソングなどを入れた電子書籍で。(3)音楽的才能のあるメンバー・ロスターを作ろう。すでに26名を発掘。(4)ユーチューブなどで音楽活動をアピールしよう。

11月の台北での100年記念大会の後、本委員会の活動の成果が試されます。個人的には埼玉クラブのようにASP所属の全クラブが「歌声集会」を持つくらいになるとインパクトが出てくると思っています。❖

## YMCA SPACE

### ◆ YMCA ニュース

#### ▼ ウクライナ避難者支援募金(終了:8月31日迄)

日本へ避難してきた方々の生活支援、特に子どもの教育環境や保護者のメンタルケアなど、YMCAと在日本のウクライナ人によるNPO等との協働で支援を継続してまいります。そのための募金を呼び掛けてまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

#### ▼ 埼玉YMCA 早天祈祷会(オンライン)

6月1日(水) 7:00-8:00 奨励:片岡継牧師/ワシントン日本人キリスト教会

#### ▼ 第11回日本YMCA 同盟協議会

会場:東山荘 期日 6/18(土) - 19(日)

埼玉 YMCA 選出の代議員は衣笠メン、高橋正樹さん(リーダー)、総主事小谷の3名。

#### ▼ 全国YMCA ウォーターセーフティデイ 6/19(日)

各YMCAにて着衣泳などウォーターセーフティの実地キャンペーンを行います。

#### ▼ 全国YMCA リーダー研修会/リーダーズセミナー(オンライン) 6/25(土) - 6/26(日)

今年はオンラインを活用して、年3回の研修/交流会を実施します。(4面に続く)

## YMCA SPACE (p.3 から続く)

### ◆ 浦和 YMCA の小窓から

\*活動をあまり見られないワイズメンに普段着のYMCAを知ってもらおうと職員の皆さんがストーリーを提供してくれる欄です。ワイズみんなで応援しましょう。

浦和センターでは、平日の通常クラスのほかにも、休日の特別プログラムに力を入れています。普段できないことを YMCA のメンバーと挑戦し、思いを共有するいい機会です。気のしれたメンバーやリーダーと穏やかな時間を過ごす場になればとも考えています。  
石黒成華 スタッフ

### ▼ 馬に乗って里山散策 (野外活動グループ)

武蔵道遥乗馬会で、乗馬や馬のお世話をさせていただきました。馬に乗るのがこわい人も、撫でてあげたり、ブラッシングをしてあげたり、皆が動物に対して優しく接する姿がありました。



### ▼ クッキング (クローバークラス特別プログラム)

5月5日の子どもの日になみ、鯉のぼりチャーハンを作りました。それぞれ火を使わず、電子レンジだけで作りました。満足のいく作品に自分で食べることはもちろん、家族におすそ分けすることも楽しみにしていました。(感染症対策のためお持ち帰りにしました)

### ▼ 大宮ピクニック (クローバークラス・卒業生クラス合同)

気持ちの良い天気の中、大宮氷川神社と大宮公園に行きました。日本一長い参道の魅力を感じながら、また、久しぶりに会うメンバーと楽しく歩きました。❖



## お便り



水無瀬メン:私は朝に一杯のコーヒーをのんびり飲むのが憩いの一時です。しかし近時のロシア、ウクライナの戦況を見るにつけ、私達は幸いな日々を過ごして居るのかと思います。戦争は非人間的です。戦禍の人々に心が痛みます。一杯のコーヒーで感謝と幸せを感じる時が早く持てる事を願います。又自分に何が出来ているかを反省する日々です。

### \* 今後の主な行事日程

5/28 埼玉3クラブ合同例会

6/4 東日本区大会

事務報告 会員在籍数7人

4月例会出席 9人 ゲスト・ビジター 3人

5月よる談会 9人 ゲスト・ビジター 4人

編集後記:5月ブリテンできました。今回は水無瀬メンが写真をシェアしてくれました。何よりも嬉しいのはYMCAのお便り。子どもたち・リーダー・職員がコロナ禍も何のその、澁刺と活動している様子が嬉しいです。ウクライナ侵攻3ヶ月になります。(SA)

## Men's FOTO Gallery



1991年11月 立教学Y 僻地牛滝村訪問 思い出会に集ったOB・OGです。まだあの時は若かった。(水無瀬メン提供)



埼玉ワイズ 25周年記念写真。あれから20年天に召された方が6名。いずれもワイズを愛した仲間です。(水無瀬メン提供)